

第4号議案

2021年度活動方針

1. はじめに

新型コロナウイルスの感染によって、大切な命が失われました。亡くなられた方々に、謹んでお悔やみ申し上げます。感染後も症状が改善されない方、風評被害で心を痛めておられる方、仕事を失われた方が多数おられるなど、今なおコロナ禍が続いています。

また、医療現場や介護の現場をはじめ、最前線でご奮闘いただいている方々に感謝申し上げます。さらにコロナ禍によって生活が大きく変化したにもかかわらず、がんばっておられる市民のみなさまに心からエールを贈ります。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染者やその関係者を非難する言動が日本各地で起こりました。医療関係者が忌避される事態も発生しました。生活の不安、自粛による鬱屈が負の方向へ作用し、社会全体が不寛容に傾きました。しかし一方で、誰かのために、何かをしようとする動きも生まれてきました。医療に従事する方への感謝の連鎖、生活に困窮する方への支援、心あたたまる便りが各地から届くようになってきました。

私たち生駒市人権教育推進協議会（以下：市人推協）は、これらの心あたたまる動きを支持し、拡めていきます。私たちはコロナ禍によって多くのことを学びましたが、互いに支え合う共助の輪を拡げる機会にすることが、私たちの使命だと考えています。

2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、持続可能な開発目標（SDGs）が、2015年の国連サミットにおいて全会一致で策定されました。

SDGsは「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現することを目標とし、17のゴールと169のターゲットを定めています。（18ページ参照）

「我々の世界を変革する：持続可能な開発のためのアジェンダ」の前文に、「我々は世界人権宣言及びその他の人権に関する国際文書並びに国際法の重要性を確認する。我々はすべての国が国連憲章に則り、人種、肌の色、性別、言語、宗教、政治若しくは信条、国籍若しくは社会的出自、貧富、出生、障害等の違いに関係なく、すべての人の人権と基本的な自由の尊重、保護及び保護責任を有することを強調する」と書かれています。これは、世界人権宣言の重要性をあらためて強調するものです。私たち市人推協も、世界人権宣言（第1条：すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心を授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない）の精神を重く受け止め、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」社会の実現のため、事業を展開します。私たちは、何より「人命」を大切にしてきました。今後も市民の命を第一に考えながら、感染防止対策を万全とした上で各事業を実施します。人権が尊重されるまちづくりに向け、次の4つのテーマを軸とした取組を、コロナ禍の中で、一步一步進めていきます。

生駒市人推協がめざす「まち」

- だれもが人として大切にされるまち
- 自分らしく生きられるまち
- 多様性を認め合えるまち
- 人とつながり絆が深まるまち

これらは、人権教育講座「山びこ」のアンケートに記された市民の声を4つに集約したものです。市民が共感し実現を願うテーマとして、市人推協の今後の諸活動に位置づけます。

2. 具体的な活動

(1) 人権教育講座「山びこ」

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、大変残念でありましたが、全7回全ての「山びこ」講座を中止としました。今年度は、感染対策に万全を期し、各分野で活躍されている講師をお招きし、7講座を実施します。

講座の内容としては、性的マイノリティの問題や部落問題、「生駒市人権に関する市民意識調査」(2018年)で関心の高かった「子どもの問題」、自分を見つめ直し人との繋がりを考える講座を設定します。いずれの講座も、人権について参加者が自分なりに考え自らの生き方に活かせる講座となるよう努めます。

(2) 人権教育「地区別懇談会」(地区懇)

「地区懇」は、人権を身近な課題として話し合い地域の絆を深める活動で、昨年度は「東・南地区」の自治会に開催のお願いをする予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、やむを得ず中止しました。一昨年度の「中・西」地区では、19の自治会からの要請があり、401名の参加がありました。「地区懇」の存在が少しずつ市民に広がり、参加者も増えてきました。また、実施後のアンケートでは、「地区懇の活動は大切であると感じた」が97.7%、「人権問題を身近な問題と捉えた」が96.5%あり、地区懇を通し人権を身近に感じていただきました。

今年度は、昨年度開催できなかった「東・南地区」に開催をお願いします。開催の有無は、各自治会でご判断頂きますが、新型コロナウイルス感染防止対策や内容、進行等は自治会と相談しながら計画します。地域社会づくりにつながる場となるように工夫して実施します。なお、今後の地区懇開催は、2022年度が「北地区」、2023年度が「西・中地区」、2024年が「東・南地区」となります。

(3) 市人推協研究大会

研究大会は市人推協の加盟団体から、これまでの歩みや日頃の活動について報告いただき、お互いの活動を知り学び合う場としています。今年度の活動報告は、「生駒市介護者(家族)の会」に、介護する方もされる方も人として大切に活動について報告していただきます。

また、毎年、記念講演（第7回「山びこ」）を実施し、楽しい雰囲気の中で、人権の大切さを確認し合う場としています。今年度の記念講演は、元アナウンサーで現在はフリーアナウンサーとして活躍されている泉浩子（いずみ ひろこ）さんを招きます。泉さんは、朗読劇団「泉座」の座長として数々の公演をされており、当日は感情豊かに、人とのふれあい、やさしさ、おもいやりを届ける朗読劇を上演されます。

（４）市人推協理事研修会

市人推協理事会は、加盟団体から選出された理事、及び個人会員の理事で構成され、市人推協運営の中心的存在です。毎年人権教育に関する研修会を実施しており、今年度は11月に、和歌山県広川町にある「稲むらの火の館」を訪ねます。1854年に安政の大地震が発生し、紀伊半島一帯を大津波が襲いましたが、この時、この地で生まれ育った濱口梧陵は、自身が所有していた田に火をつけ、村人に大津波がくることを知らせました。このことで多くの命が救われました。また濱口梧陵は私財をなげうち、広川堤防を築きました。この堤防のおかげで、1946年に起こった昭和南海地震の大津波の時も、多くの広川町の住民の命が救われました。理事研修会を通し、防災と命の大切さを濱口梧陵から学びます。

（５）人権に関する各種活動と広報

学童保育への出前講座は、新型コロナウイルスの感染状況を注視し、要望があればそれを受けて実施します。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で減少しましたが、生駒市人権施策課が備える人権DVDの利用が増えています。さらに利用が広がるよう取り組むとともに、利用者の意見を参考にしてライブラリーの充実に努めます。

市人推協の広報誌「やまなみ」を一昨年度からカラー版にして見やすくしました。昨年度12月発行の第47号、今年度5月発行の第48号においては、「人権問題を考える」と題し、現在なお存在する人権問題（コロナと人権・障がいのある人・部落差別・多様な性・高齢者・女性・在日外国人）を取り上げ、市民の方とともに「人権」を学びました。人権は難しいものでなく、誰もが心で理解できるはずのものであると私たちは考えています。また「人権」は、人間が人間らしく生きるための最低限の権利です。しかし、現在も最低限であるはずの権利が奪われ、様々な人権問題が起こっています。私たちはあらゆる機会を通して、これからも、人権に関する情報を発信し、市民のみなさんとともに学んでいきます。

（６）関係団体の研究大会・研修会への参加

奈良県人権教育推進協議会（以下：奈人推協）の加盟団体として、奈人推協をはじめとする関係団体の研究大会・研修会に参加します。市人推協の取組を発信するとともに、他の実践から得たことを活動に活かします。

3. 結びに

生駒市人推協は、2002年に発足し、市民の市民による市民のための活動を大切にしています。これからも、人権が尊重されるまちづくりを目指して、ともに進みましょう。

SDGs (エスディーゼーズ)

サステナブル ディベロップメント ゴールズ
Sustainable Development Goals
 (持続可能な) (開発) (目標)

SDGs は、子どもたちの未来を守り、将来も豊かな社会となるよう、2015 年に国連で採択された国際目標です。

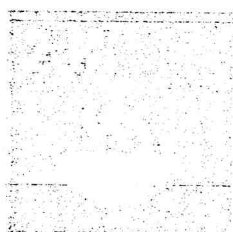
SDGs は、2030 年までに実現をめざす 17 のゴール（目標）と、そのために必要な 169 のターゲット（具体的な達成基準）を設定し、環境や資源の問題だけではなく、平和で包摂的な社会、すべての人が尊厳と平等の下に持てる力を発揮できる社会の実現を求めています。その基盤にあるのが「誰一人取り残さない」という理念です。

17のゴール(目標)

世界共通のアイコンで表されています



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



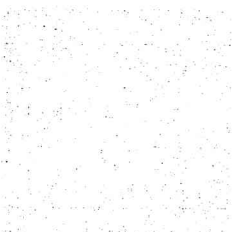
4 質の高い教育をみんなに



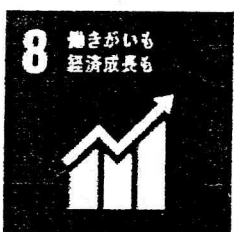
5 ジェンダー平等を実現しよう



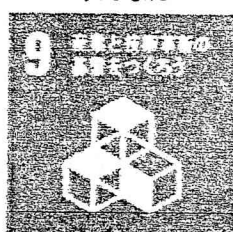
6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



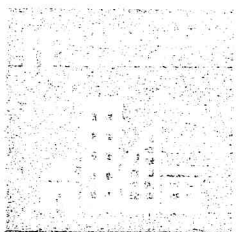
8 働きがいも経済成長も



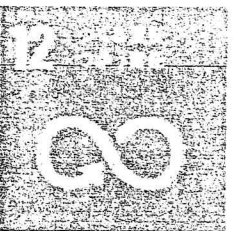
9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



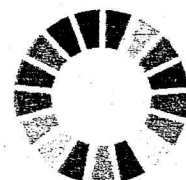
15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナリシップで目標を達成しよう



SDGs カラーホイール

17 の色で 17 のゴール（目標）を表し、バッジやポスターなどに使われています。